

マウス由来トランスグルタミナーゼ2、組換え

Cat. No. NATE-1732

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 トランスグルタミナーゼ2はクローンIRAKp961C066Qに基づいています。N末端にヘキサヒスチジンタグが融合しており、エンコードされたN末端アミノ酸配列はMHHHHHHAEEELLです。トランスグルタミナーゼ2はE. coliで生成され、イオン金属キレートクロマトグラフィーによって95%以上の純度で精製されます。

用途 トランスグルタミナーゼ2は、タンパク質やペプチド中のグルタミン残基から一次アミンへのアシル転移反応を触媒し、例えば、ペプチド結合グルタミン残基のアシル基をペプチド結合リジン残基の一次アミノ基に転送することによって、タンパク質間のε-(γ-グルタミル)リジン結合を形成します。トランスグルタミナーゼ2は、免疫沈降にも使用される場合があります。

別名 トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクターXIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミルペプチド γ-グルタミルトランスフェラーゼ; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミルペプチド:アミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; タンパク質-グルタミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; TG1

製品情報

種	マウス
由来	E. coli
外形	白い凍結乾燥固体。
形態	トランスグルタミナーゼは、50 mM NaH ₂ PO ₄ 、150 mM NaCl、pH 8から凍結乾燥されています。サンプルにはマルトデキストリンが含まれています。
EC番号	EC 2.3.2.13
CAS登録番号	80146-85-6
分子量	78 kDa
純度	> 95 % (SDS-PAGEによる視覚的)
活性	> 750 U/mg [活性は、Lorand et al.によるN,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカペリンの取り込み後の蛍光増強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)。]
活性化因子	10 mMのCa ²⁺ を加えてトランスグルタミナーゼを活性化します。
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の増加として定義されます (Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; λ _{ex} = 332 nm, λ _{em} = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; 検出器強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml)。

使用法とパッケージング

包装 250 µg; 1mg

再構成 H₂Oの体積を、凍結乾燥粉末のバイアルに加えます。固体が溶解するまでバイアルを優しく回

再構成

11200/件値と凍結乾燥粉末の100mgに加水し、固体が溶解するまでリソソームを優しく回転させます。再構成後、溶液は作業用アリコットで冷凍保存する必要があります。短期間の保存のために氷の上で冷却してください。

保管・発送情報

保存方法

作業用アリコットは、**-20°C**以下で保管してください。繰り返しの凍結と解凍は避けてください。常温での配送が可能です。